

除草剤による雑草木の退治法あれこれ

生育中の雑草木に茎葉処理すると、薬液が吸収されて地下茎に移行し、根まで枯らすタイプの除草剤が最近多く使用されています。ここでは手軽

にできる4種の雑草木の退治法について紹介します。

対象雑草木	薬剤名と希釈倍数	使用 方 法	使用適期と量	摘 要
ニセアカシア	バンベールD 3倍液 ラウンドアップ 原液又は2倍液	切株処理 伐採直後の根株切口にハンドスプレーで吹きつけるか、刷毛、筆などで切口面に薬液を塗布する。	3月～9月 4 ml / 直径10cm	ニセアカシアは連根のものが多く、対象木以外にも薬液の移行がある。
ヤマウルシ	ラウンドアップ 10倍液	園芸用小型噴霧器の噴霧金具を抜いて、薬液がストレートに出るようにして、葉の表面に着生するよう噴射する。	6月～9月 1.0～1.5 ml / 1本	根元径15mm以上のヤマウルシは地際から刈り取り、切口に薬液を塗布するか、萌芽させてから処理する。
立木に巻上がったクズフジ	ザイトロアミン 液剤 2～5倍液	腰高(1m)の部位にナタ目を入れて、スポイト状の注入器で薬液を注入するか、10cm位を剥皮して筆などで塗布する。	6月～9月 直径2cm下 0.5 ml 2cm上 1.0 ml 4cm上 2.0 ml	アケビ、1年生のつる類にも効果がある。
苗畑、樹木園、庭木、庭石の間にあるスギナ	ラウンドアップ 原液又は 2～3倍液	スギナの茎の中間を指で揉み、細筆で薬液を塗布する。	6月～9月	茎葉の表面の蠟質にキズをつけないと薬液が付着しない。再生した茎葉には再処理すると根絶する。

(育林部 唐沢)